



お互い助け合う「感謝」の気持ちと「諫早市社会福祉協議会」の意味を込めて名付けました。末永く皆さまに愛される広報紙を目指しています。



諫早市立上山小学校
福祉体験学習の様子

福祉教育

～ともに生きる力を育む取り組み～

「地域共生社会」という言葉から、皆さんはどんなイメージをお持ちですか？

「地域共生社会」とは、世代や分野を超えてつながることで、子どもも、高齢者も、障害のある人も、誰もが自分らしく暮らし、共に生きるまちを目指しています。

少子高齢化が進行している現在の日本では、さまざまな課題がある人が、社会的に孤立することなく、住み慣れた地域でその人らしく生活し続け

ることができるまちの実現が、これからの地域福祉に求められています。

これを具体的に実現するために、学校や地域では、子どもから大人まですべての世代が福祉を身近に感じ、行動につなげられるよう、さまざまな取り組みが行われています。

今号では、ともに生きる力を育むための取り組みを紹介しながら、皆さんと一緒に「支え合いのまちづくり」について考えていきます。

おしらせ あなたの「かんしゃ」募集します

社協広報紙「かんしゃ」の表題の文字とイラストをお寄せください！

■応募方法：右の二次元コードから様式をダウンロードしていただき、ご記入の上、社協へ郵送してください。

採用された方にはクオカード500円分をプレゼントいたします。

今月のイラストは 篤淵 藍 さん、文字は なるー さん に書いていただきました。ありがとうございます。



「ともに生きる力を育む」ために

学校・地域が協力して取り組んでいます



地域とともに育つ子どもたち ー福祉教育推進事業協力校の活動ー

諫早市立高来西小学校
校長 西村 直子

高来西小学校では、もち米づくりや芋づくりなどを通じて、子どもたちが地域の人々とふれあう機会を大切にしています。これらの活動は、「ともに生きる力」を育む福祉教育の一環として行われています。

2月には、学校の近くの畑で児童が育てたそばを用いて、そば打ち体験をしました。この活動を支えているのが、地域のボランティアの皆さんです。和気あいあいとした雰囲気の中、手本を見せながら優しく指導され、子どもたちも「楽しい」と積極的に取り組んでいました。学校は、この活動を地域の人とふれあう貴重な場として大切にしています。



▲幻の高来そば振興協議会の皆さんとのそばうち体験

教頭の今田先生は、「子どもたちには、地域のことを知り、その良さを感じて欲しい。」

そして、地域の人との関わりを通じて、優しさを根っこに持った人に育てて欲しい」と話します。現在はその土台作りの段階と考えており、2年生で芋づくり、5年生でもち米づくり、6年生でそばづくりというように、卒業するまでに必ず地域の人たちと関わる機会を作っているそうです。そして、「小学校を卒業し、大人になってもここで育んだ心をずっと大事にして欲しい」と語ります。



▲田植えの様子。「とどろき元氣塾」や民生委員の皆さんと一緒に

また、高来地区には、「地域全体で子どもを育む」という風土が根づいており、こうした環境の中で、子どもたちは地域の人々の温かさを感じながら学びを深めています。地域とともに育つ経験が、子どもたちに安心感を与え、豊かな心を育む大切な機会となっています。

地域のつながりで人への思いやりを育む ーボランティアスクール開催ー

有喜地区社会福祉協議会
会長 宮崎 貴志雄

有喜地区社会福祉協議会では、平成9年度からボランティアスクールを開催しており、今年度で28回目。地区社協として、地域の子どもたちへの支援の充実と健やかな成長を願って開催しています。

令和6年度は、5月から1月にかけて月1回開催し、小学生から高校生までの26人が参加しました。活動内容は、有喜地区敬老会で参加された人に渡すプレゼントの作製や、地域の花壇へ花の苗植え体験などさまざまです。地域の人々とのふれあい、交流する内容を意識し、また、学校ではできないことなどを取り入れ、ボランティアへの関心や、人への思いやり・助け合いの心の育成につなげ



▲早見海岸では海の生き物観察とゴミ拾いを行いました

ていきたいとの想いで企画されました。

ボランティアスクールを卒業した子どもの中には、地域で行われたイベントにボランティアとして参加してく



▲毎年、敬老会で子どもたちから手作りプレゼントを渡しています

れたなど、成長とともに地域へ貢献する子どもの姿が嬉しく感じることもあるそうです。

企画に取り組む事務局長の青山さんは、地域でボランティアスクールに取り組む良さを「学校をはじめ、保護者や地域住民など様々な人の協力があること。地域の人や異なる学年の子どもの交流で人間関係や思いやりの心を育んでほしい」と話されます。

有喜地区では、地域の多くの人々の温かい想いの中で、子どもたちは成長しています。

諫早市社会福祉協議会からのお知らせ

「福祉」についての学びをサポートします!!

地域で暮らす誰もが自分らしく暮らし続けるためには、お互いを理解し、支え合うことがとても重要です。本会では、そのことについて考えるきっかけ作りとして「福祉体験学習」を行っています。

福祉体験学習の種類

- ・高齢者疑似体験
- ・車いす体験
- ・視覚障害者疑似体験
- ・知的障害者疑似体験
- *他団体の取り組みも紹介しています。
 - ・認知症
 - ・手話
 - ・点字 など

～知的障害者疑似体験ってどんなことをするの?～

諫早市手をつなぐ育成会（知的障害のある親の会）と協力し、知的障害・自閉症の特性である伝わらないもどかしさを体験します。そして、対応の仕方を学び、理解を深めます。

その他に、知的障害についてより身近に感じられるよう、知的障害のある子どもを育ててこられた保護者の講話も行っています。



▲体験のようす

依頼の流れ

① 相談

実施日やどんな学習をしたいのかご相談いただき、一緒に考えます。
※ 遅くとも1か月以上前までにお願いします。

② 依頼書の提出

依頼書に必要な事項をご記入いただき、本会にご提出ください。

③ 打ち合わせ

担当者と一緒に、当日の動きや内容について打ち合わせを事前に行います。

④

実施

学校以外にも、企業や団体などからの依頼も受け付けていますので、お気軽にご相談ください。



「車いす」を無料で貸し出します!!

本会では、病気やケガなど一時的に必要な人を対象に、無料で車いすの貸し出しを行っています。

「一時的に必要な」とは、例えばこのような方です

- ・介護保険の認定が下りるまで貸してほしい
- ・骨折をして歩くのが不自由になった
- ・旅行に行くために車いすが必要など



対象者 諫早市在住の人
貸出場所 諫早市社会福祉協議会
(新道町948)
貸出期間 最大3か月のうち必要な期間
受付窓口 月～金曜日（祝日を除く）
午前8時30分～午後5時15分

プルタブ・使用済み切手 受付中!!

集まったプルタブは、換金し、諫早の地域福祉活動に、使用済み切手は、ユニセフ協会を通じて、世界の子どものために活用されます。
ぜひ、ご協力をお願いします。



お願い

切手が貼ってある封筒をそのままご寄付いただいても大丈夫です。



お問い合わせ先

諫早市社会福祉協議会 地域支援課 ☎ 24-5100

ボランティアのひろば

諫早市ボランティアセンターに登録している団体を紹介します。
 安心して暮らせるまちづくりのために、多くの人が、できることを、できる範囲で、ボランティア活動に取り組んでいます！

点訳友の会「ムツゴロ」

視覚に障害のある人のために、活字で書かれている広報紙や書籍などの内容を点字にして伝えるボランティアです。

私たちは、点訳、つまり目の見える人が使う活字を、目の見えない人が指などで読む文字である点字にする活動をしています。

主な活動は諫早市内の視覚障害のある人へ広報いさはやや、カレンダー、エフエム諫早の番組表、JR諫早駅の列車時刻表などの点字版を作成して届ける事です。また、活字の本の点訳をして全国の視覚障害者のためのサピエ図書館（※）にも納めています。



▲ボランティアフェスティバルでの点字体験

他には市内の中学校で行われる点字体験学習の

お手伝いや、図書館フェスティバルやボランティアフェスティバルで一般の人への点字体験なども行っています。

目が見えない、見えにくいのは、病気やケガによって誰にでも起こりうる事です。点字体験を通じて視覚障害への理解を深めて頂けたらと思います。

※サピエ図書館…視覚障害のある人や活字による読書が困難な人に、点字図書や録音図書のデータを提供するネットワークシステム。

【活動日】第2・4土曜日

【活動場所】諫早市民センター・諫早市立図書館

諫早手話サークル

手話に関する学習や、手話の普及活動、聴覚障害者の権利と暮らしを守る活動に取り組まれています。

諫早手話サークルは、ろう者（聴力に障害のある人）と聞こえる人が手話を通じて楽しく交流し、お互いの理解を深める活動に取り組んでいます。手話の勉強会やのんのこ祭りなど地域イベントへの参加に加え、ろう者が暮らす地域を中心に、行政や地域の人と一緒にまち歩きをして、防災マップを作るなど防災減災を目指した活動にも取り組んでいます。



▲学習会の時の仲間たち

「できる人が、できるときに、

できること」を合言葉にサークル員で協力し合っています。

「手話は言語である」この理解を広め、ろう者とうろ者以外の人々が手話を使ってコミュニケーションができ、誰もが安心して暮らせるまちを目指しています。



▲諫早パラフェスでの手話体験

【活動日】第3月曜日 第2・3水曜日

【活動場所】諫早市社会福祉会館



声の「かんしゃ」お届けします

視力に不安のある人へCDに録音した、声の広報紙を無料でご自宅までお届けします。



編集
発行

社会福祉法人 諫早市社会福祉協議会

〒854-0045 諫早市新道町948番地
 TEL 0957-24-5100 FAX 0957-24-5101
 ホームページ <https://isahaya-shakyo.jp>
 （諫早市社会福祉協議会で検索ください）

ご寄附ありがとうございました

ご厚志に沿うよう地域福祉事業のため大切に使用させていただきます。

令和7年2月1日～2月28日受付分

▶香典返し ▶川上 孝史 様(八女市)【亡父 勝也 様(目代町)】
 ▶物品寄附 ▶生長の家 諫早道場 様

4月のふれあい福祉相談

財産、権利擁護など、法律上の悩みごとなどをおたずねください。

無料 専門 相談	開設日	4月25日(金) 弁護士
	開設時間	午後1時30分～4時
	場所	諫早市社会福祉協議会 電話 24-5100

※専門相談は、10日前までに予約をお願いします。